

2 表

区 分	持続性の高い農業生産方式の内容	施用の目安等
有機質資材 施用技術	○ たい肥等有機質資材施用技術 土壌診断に基づき、適切に完熟たい肥等を施用する。	2 t/10a
化学肥料 低減技術	○ 肥効調節型肥料施用技術 被覆肥料等の利用により肥効率を向上させる。 ○ 有機質肥料施用技術 有機質肥料を用いた施肥体系とする。	化学合成窒素量 5.5kg/10a 以内
化学農薬 低減技術	○ 機械除草技術 除草機械（中耕同時作業）により雑草を駆除する。（園地周辺での害虫発生助長植物除草も含む）	化学合成農薬成分回数 2成分以内
その他の留意事項 有機質資材施用で肥料効果が期待できる時は減肥する。		